



利根中央病院だより

第44号  
2017年 春号

# きらめき



発行責任者 利根中央病院 院長  
編集責任者 利根中央病院 事務長  
〒378-0012 群馬県沼田市沼須町910-1  
TEL: 0278-22-4321 (代表)  
FAX: 0278-22-4393  
URL: <http://www.tonehoken.or.jp/>

## エコー(超音波)を用いた整形外科診療



整形外科部長 須藤 執道

近年、腹部検査などに利用されてきたエコー（超音波）の高性能化、小型化が進み、整形外科の分野でもしばしば使用されるようになってきました。今回は、エコーを用いた整形外科診療について紹介します。

### ～エコーの利点～

エコーの利点は、X線には写らない軟部組織（神経や筋肉、血管など）を、診察室でエコーを当てただけですぐに観察できることです。

また、今までは盲目的に行っていた注射針の先端をエコーで確認できるので、より確実に狙った部位への注射が可能です。

このような利点があるため、次の整形外科診療が可能となりました。

### ①麻酔への応用（神経ブロック）

エコーを用いて直接神経を見ながら麻酔（神経ブロック）を行うことにより、無痛状態もしくは我慢できる程度にまで痛みを軽減することが可能となり、脱臼や骨折の整復が容易になりました。

### ②筋膜注射（筋膜リリース）

エコーを見ながら筋膜に注射をして、痛みを和らげる治療法です。次に挙げる2つの疾患がよい適応となる代表的な疾患です。

### (a) 寝ちがえ

特に治療しなくても2～3週間もすれば自然に治癒することが多い寝ちがえですが、頸の圧痛部位にエコーを当て、筋膜に液体（局所麻酔薬を含んだ生理食塩水）を注射することによって痛みが軽減されます。

患者さんによっては、注射後すぐに頸が回せるようになる方もいます。

### (b) 急性腰痛症

こちらも筋膜注射（筋膜リリース）のよい適応です。腰の圧痛部位の筋膜に注射をすると痛みが軽減されます。体動困難のために当院へ救急車で運ばれてきた患者さんが、注射後にスタスタ歩いて帰っていったという例もあります。

ただ、高齢の患者さんが急性腰痛症を起こした場合には腰椎の骨折であることも多いので、骨折の場合にはそちらの治療を優先します。

以上が筋膜注射の簡単な概要ですが、最近では肩関節周囲炎（五十肩）の患者さんにも行うことが多くなってきました。

利根中央病院の整形外科では従来の診療に加え、エコーを用いた診療にも積極的に取り組んでいます。

痛みでお困りの患者さんがいましたら、是非ご紹介ください。

## 特別養護老人ホームの建設に向けて

社会福祉法人設立準備室長 細田 直之



特別養護老人ホームは二度目の挑戦となります。今回の申請では、沼田市の特養空白地域に建設すること、街中に建設すること、利根保健生活協同組合との連携などの内容を入れ2016年10月に申請を行いました。昨年12月に候補者に選定され、今年2月末に正式に事業者として選定されました。

### <建設予定規模>

#### (1) 広域型特養60床

利用料が安く、国民年金でも入所できる従来型で建設します。部屋は多床室と個室の混合型になりますが、多床室でも隣のベッドが見えないなどプライバシーを配慮した設計としました。

#### (2) 地域密着型特養20床

地域の利用者を優先とした、全個室ユニット型の特養です。10人を1グループとして、固定した職員でケアを行います。

#### (3) デイサービス

定員を30人とし、リハビリや庭での野菜栽培など、特色のあるデイサービスを行いたいと思います。

#### <まちづくり>

地域のボランティアさんを受け入れ、地域行事やイベントなどに積極的に関わっていく予定です。また、高齢者問題だけでなく地域の子どもにも目を向け、福祉貢献活動も行っていく予定で、社会福祉法人として地域と一体になった事業所を目指します。

今後は2017年夏頃の法人設立の準備と並行して、2017年秋の着工を目指し建設の準備を進めていきます。新たに設立する社会福祉法人が、安心して住み続けられるまちづくりの拠点になればと思います。

今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いします。



## とね診療所を「利根中央診療所」として新築移転

とね診療所 副主任 大河原敦彦



62年前、医療に恵まれていなかった利根沼田地域住民の「よい医療を地元で」の期待にこたえて、利根保健生協の原点となる「利根中央診療所」（利根中央病院の前身）が開設されました。その名称を復活させ、現在「介護老人保健施設とね」に併設している「とね診療所」を、旧病院西側の駐車場跡地に新築移転します。

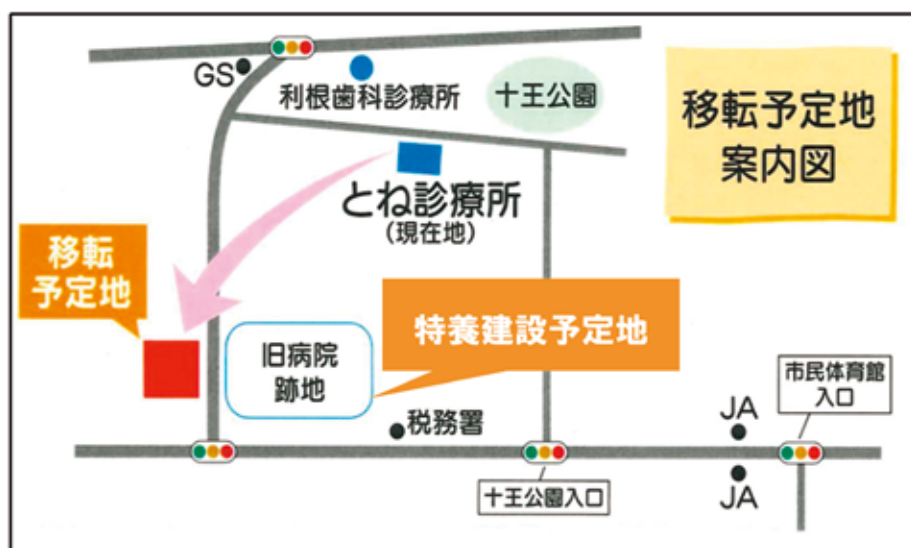
地域に根ざした医療を実践し、沼田市街地の方々の受診の利便性を図るとともに、「とね訪問看護ステーション」と「利根中央病院居宅介護支援事業所」

を移転併設し、在宅医療を支える体制を整備して、利根沼田地域の在宅医療の充実に取り組んでいきます。また総合医を目指す医学生への研修・見学も受け入れ、育成にも協力していきます。

今年4月の着工、11月の開院を目指し準備を進めています。

地域包括ケア時代を迎え、行政、住民、事業者が連携し、健康で安心な地域づくりを進めていくことにも力を注いでいきます。

### 利根中央診療所竣工イメージ



## ハワイ気分の新春コンサート

2月18日（土）研修室において新春コンサートを開催し、ハワイアンバンド「ロイヤルハワイアンズ」と、フラダンスチーム「プア・カラウヌ」が共演しました。

両者の息はぴったりで入院中の患者様からは、「ハワイにいった気分になった」などの声が聞かれました。今後も「心の癒しの場」ができるような企画を考えていきます。



## 5名が研修修了 臨床研修報告会を開催

利根中央病院・前橋協立病院の初期・後期研修医が一堂に会し、『わたしを成長させてくれた事例』をテーマに報告を行いました。

それぞれの思いや個性、特技が研修にも生かされており、研修の充実した様子が見て取れました。



## きらめき トピックス

### 「手洗い教室」について

利南東小学校1年生を対象に「手洗い教室」を実施しました。子供たちと手洗いの必要と正しい手洗いについて学び、手洗いチェッカーを用いて日常の手洗いの振り返りをしました。冷たいお水で一生懸命手を洗う子供たちがとても印象的でした。

今後も子供たちと一緒に学べる機会を持ちたいと思います。



### 新入職員オリエンテーション

医科研修医6名・歯科研修医2名を含む43名が当生協に入職しました。

2日間にわたるオリエンテーションで、生協の仕組みや業務における重要事項の研修を受け職場配属となりました。同期として悩みを相談できる同期会も結成され、切磋琢磨が期待されます。

